

インサイト追跡イベントのベストプラクティス

クリックフィルタの定義

タイプ「クリック」のイベントを選択する場合、クリックが発生したエレメントを識別するルールを定義する必要があります。

エレメントを特定する基準：

- **テキスト**
エレメントの正確なテキスト（多言語ウェブサイトには推奨されません）
- **ID**（属性`id=`の後にIDが続きます）
エレメントの正確なIDを入力します
- **クラス**（属性`class=`の後にクラス名が続きます）
エレメントを識別するクラスを入力します。
 - クラス階層：親エレメントクラスを使用してエレメントを識別します。
例えば、ページ内の複数のフォームに保存ボタンが複数ある場合は、特定の保存ボタン `btn_save_fromShipping` を識別します。

ベストプラクティス：

- ユーザーが操作する最大のエレメントを選択します。これにより、定義されたエレメントの階層にある下層エレメントに発生する可能性があるすべてのクリックが含まれます。
- この追跡イベントにカウントされるクリックが異なるアクションに関連する他のエレメントを集計しないように、定義が一意となるようにします。
- 定義のクラスまたはIDを選択する場合、一貫性があり、訪問するたびにランダム化または変更されていないことを確認します。
- 追跡イベントを定義するために、長いクラスおよびIDを避けてください。
 - 長いクラス（35文字以上）と長いID（40文字以上）は収集されません。
 - 注：これは個々のクラスにのみ適用され、複数のクラスには適用されません。
 - 例：`[class='btn_otherclass button_enable_specific_button superlongclassthatissupposedtobethislongtoreachthelimit]`
 - `btn btn_otherclass button_enable_specific_button` というクラス名は収集されますが `superlongclassthatissupposedtobethislongtoreachthelimit` というクラス名は収集されません。

ページビュールールの定義

URLは、複数の個別の部分で構成されています。URLのコンポーネントを理解すると、URLルールをより正確、簡単に定義できるようになります。

ページビューフィルタを定義すると、ページの特定の部分または全体のURLを使用して、特定のページを識別することができます。

追跡された各ページビューで、インサイトはURLのすべての部分を保存します。例えば、ページ <http://shopme.walkme.com/product/jumpsuit?id=1234#product-description> の場合、Insightsは以下を保存します。

- 完全URL <http://shopme.walkme.com/product/jumpsuit?id=1234#product-description>
- ドメイン <http://shopme.walkme.com>
- パス </product/jumpsuit>
- クエリ [?id=1234](#)
- ハッシュ [#product-description](#)

<http://shopme.walkme.com/product/jumpsuit?id=1234#product-description> というURLのルールを作成したとしましょう。

ページビューフィルタでは、その定義に、完全なURLを使用する、または、

- パス [/product/jumpsuit](#) を利用する選択肢があります。
クエリパラメーターまたはハッシュ値に関係なく、特定のページパスで追跡されたすべてのページビューのフィルタ
- ID [?id=123](#)
パラメータ [?id=1234](#) で追跡されたすべてのページビューのフィルタ
- ハッシュ [#product-description](#)
ハッシュコード [product-description](#) で追跡されたすべてのページビューのフィルタ

異なるパートの組み合わせが必要な場合は、完全なURLオプションを使用することが推奨されます。

URLルールでのワイルドカードの使用

ページビュールールを定義する際に、ワイルドカード (' * ') を使用すべき主なユースケースは2つ存在します。

1. ページURLの動的部分を無視する
2. ルールを具体的にせず、一般的にする

文字列の全体トークンにワイルドカードを使用すると、2つの区切り文字の間の単語全体を置き換えることができます。

例：

http://shopme.walkme.com/product/*/edit (あらゆる製品の製品編集ページを返します)

追跡イベントのベストプラクティス

[追跡イベント](#) を定義する際にその定義のデータがすでに存在している場合、Insightsは即座に通知

×

Event Name

Element Clicked

✓

All set! There is data matching this definition.

1 Elements Identified In This Page

☐ Limit to text:

Appears in 2 other pages

☐ Limit to page:
 https://klawsign.com/app/

Element Selector

.btn-primary-ish

↩

RE-SELECT

SAVE & NEW

DONE

Hide Selector ^

インサイトで、高度なレポートのための構成エレメントとして追跡イベントを使用

追跡イベントが定義されると、追跡イベントアナリティクスのダッシュボードでデータを分析でき、イベントをファネルで活用できます。

追跡イベントを使用して、セッションプレイバック UXを改善

Sessions Playback画面で追跡イベントと通常イベントのUIの差異に注目してください。

71 Stevenson Street, Floor 20 San Francisco, CA 94105 | 245 Fifth Avenue, STE 1501 New York, NY, 10016 | 421 Fayetteville St STE 215 Raleigh, NC 27601 www.walkme.com



Regular Event



Tracked Event

追跡イベントデータが0となる原因

追跡イベントとファネルコミュニティウェビナー



